

第 章 消費者の肉の好み

1 食肉の好き嫌い

図表 - 1 食肉の好き嫌い:年代別、地域別

(単位:%)

(ひとつだけ)		好き	どちらかといえ ば好き	好きでも嫌 いでもない	どちらかといえ ば嫌い	嫌い	好き計	嫌い計
全 体 (n=2000)		55.4	27.8	13.6	2.3	1.1	83.2	3.3
年 代 別	20代 (n=400)	70.3	19.8	7.0	2.0	1.0	90.0	3.0
	30代 (n=400)	65.5	25.8	7.5	1.0	0.3	91.3	1.3
	40代 (n=400)	57.8	30.0	10.0	1.3	1.0	87.8	2.3
	50代 (n=400)	45.8	33.0	16.8	2.8	1.8	78.8	4.5
	60代以上 (n=400)	37.8	30.3	26.5	4.3	1.3	68.0	5.5
地 域 別	北海道 (n=200)	55.0	29.5	11.0	2.5	2.0	84.5	4.5
	東北 (n=200)	55.0	29.5	12.0	3.0	0.5	84.5	3.5
	関東 (n=200)	52.5	29.0	15.5	2.0	1.0	81.5	3.0
	北陸 (n=200)	57.0	23.5	15.0	2.5	2.0	80.5	4.5
	東海 (n=200)	51.0	32.0	15.0	1.5	0.5	83.0	2.0
	近畿 (n=200)	56.0	29.5	12.5	1.5	0.5	85.5	2.0
	中国 (n=200)	53.5	28.0	14.5	4.0	0.0	81.5	4.0
	四国 (n=200)	58.0	29.0	10.0	1.0	2.0	87.0	3.0
	九州 (n=200)	59.0	26.5	12.5	1.0	1.0	85.5	2.0
	沖縄 (n=200)	57.0	21.0	17.5	3.5	1.0	78.0	4.5

食肉の好き嫌いをみると、「好き」が55.4%、「どちらかといえば好き」が27.8%で、これらを合計した「好き計」は83.2%に及ぶ。一方、「嫌い」と「どちらかといえば嫌い」を合計した「嫌い計」は3.3%にとどまる。

年代別にみると、年代が低いほど「好き」の割合が高く、20代では7割を超える。「好きでも嫌いでもない」の割合は、年代が高いほど高くなる傾向にある。60代以上は他の年代に比べて「好き計」が68.0%と低いが、「嫌い計」は5.5%にとどまり、高年齢になると『肉好き』は減少するが、『肉嫌い』が増加するわけではないことがわかる。

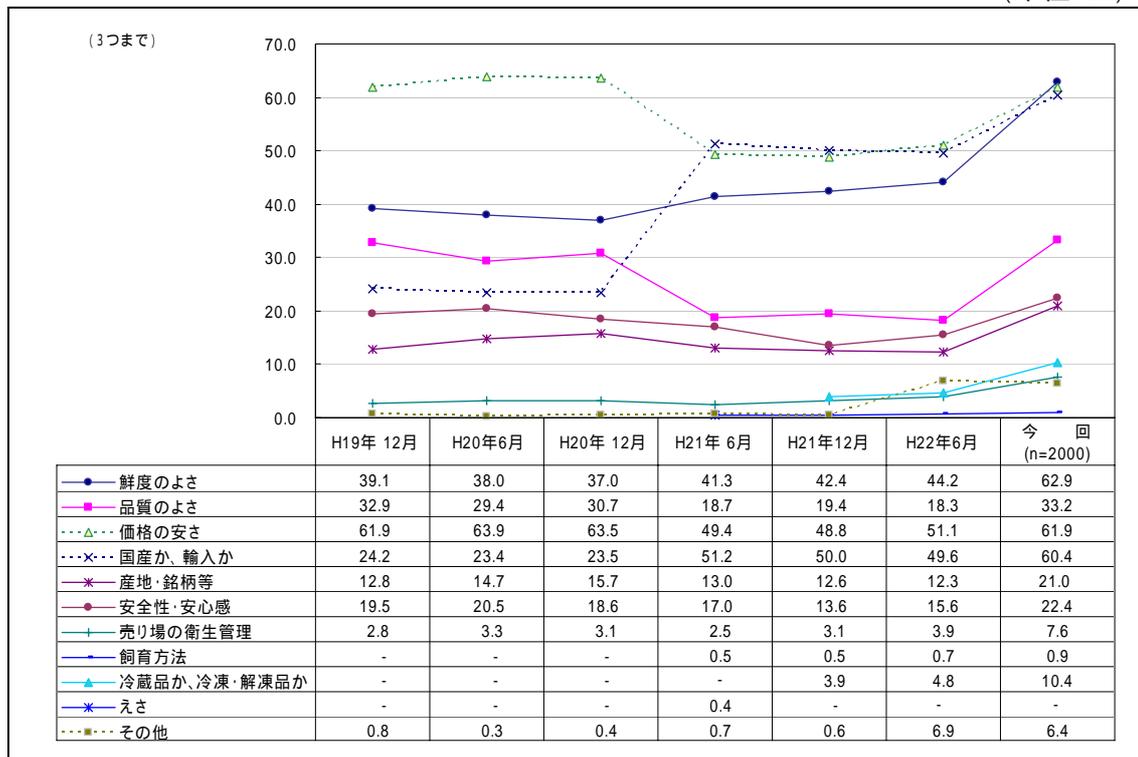
地域別にみると、「好き」の割合は九州(59.0%)で高く、東海(51.0%)、関東(52.5%)で低い。

2 食肉の選定基準

1. 食肉購入の際の選定基準

図表 -2 食肉購入の際の選定基準

(単位:%)



食肉購入の際の選定基準についてみると、「鮮度のよさ」が62.9%と最も多く、僅差で「価格の安さ」(61.9%)、「国産か、輸入か」(60.4%)が続く。次いでスコアを大きく引き離して「品質のよさ」(33.2%)が挙げられる。

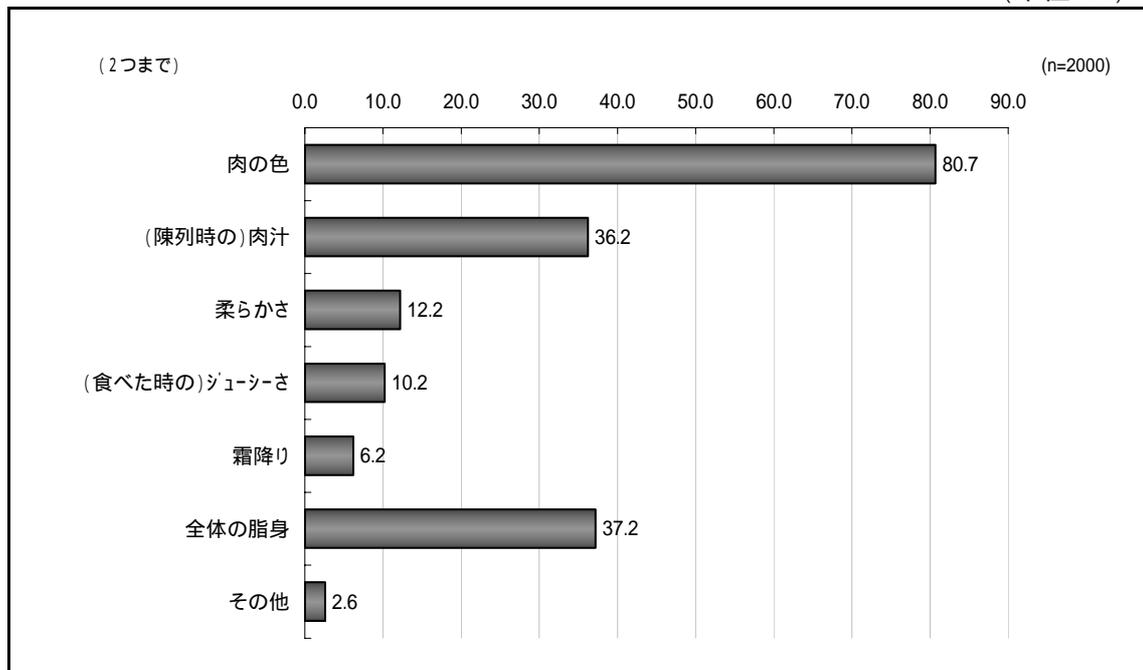
前回と比較すると、全体的に回答率が上がっており、消費者の意識が高まっている様子がうかがえる。特に、「鮮度のよさ」では前回よりも18.7ポイント、「品質のよさ」では14.9ポイントの上昇となっている。

2 食肉の選定基準

2. 購入時の肉質留意点

図表 -3 購入時の肉質留意点

(単位:%)



購入時の肉質留意点では、「肉の色」を挙げた人が80.7%と最も多い。次いで「全体の脂身」(37.2%)と「(陳列時の)肉汁」(36.2%)が続く。

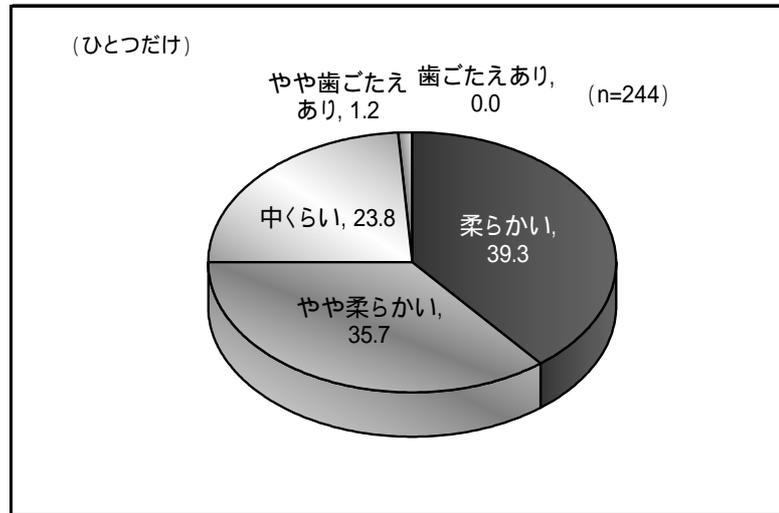
「柔らかさ」(12.2%)や「(食べた時の)ジューシーさ」(10.2%)も1割強の人が挙げたが、「霜降り」に関しては6.2%にとどまり、購入時に留意する人は少ない。

2 食肉の選定基準

3. 好みのやわらかさと脂身の量

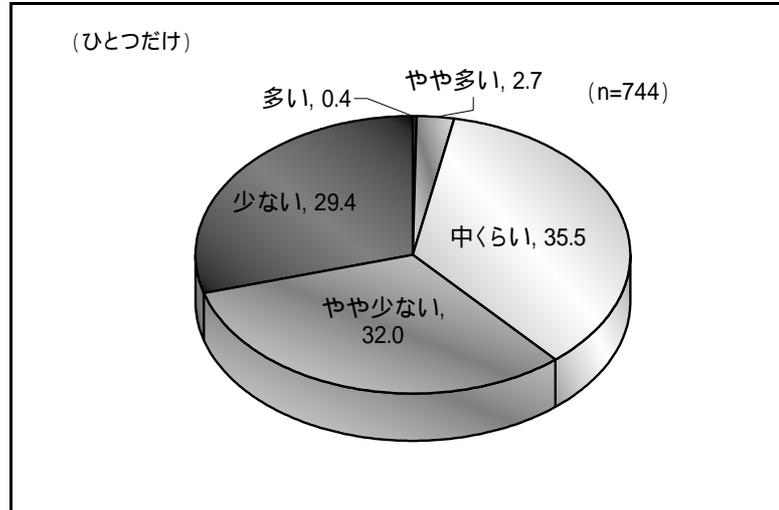
図表 -4 好みの柔らかさ

(単位:%)



図表 -5 好みの脂身の量

(単位:%)



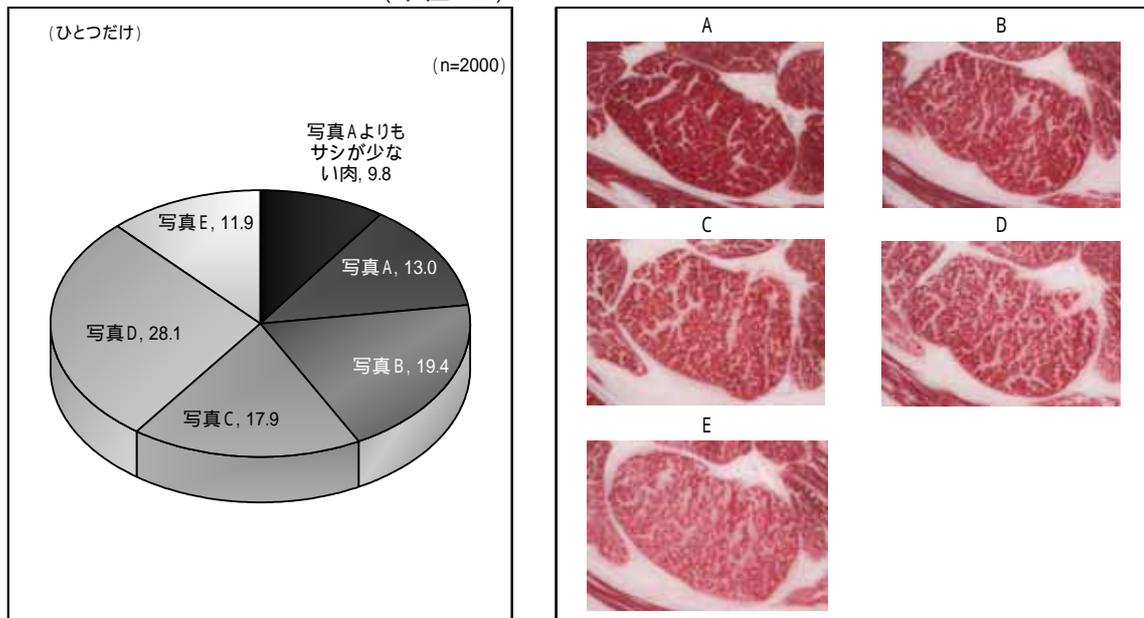
好みの肉の柔らかさをみると、「柔らかい」が39.3%、「やや柔らかい」が35.7%で、計75.0%。「中くらい」は23.8%。「歯ごたえあり」(回答なし)、「やや歯ごたえあり」を好む人は1.2%と極めて少ない。

好みの肉の脂身の量は、「やや少ない」が32.0%、「少ない」が29.4%で、計61.4%。「中くらい」は35.5%。「多い」、「やや多い」を好む人は合わせても3.1%と少ない。肉は柔らかく、脂身は少なめが好まれているといえる。

2 食肉の選定基準

4. 好みの牛肉のサシの量

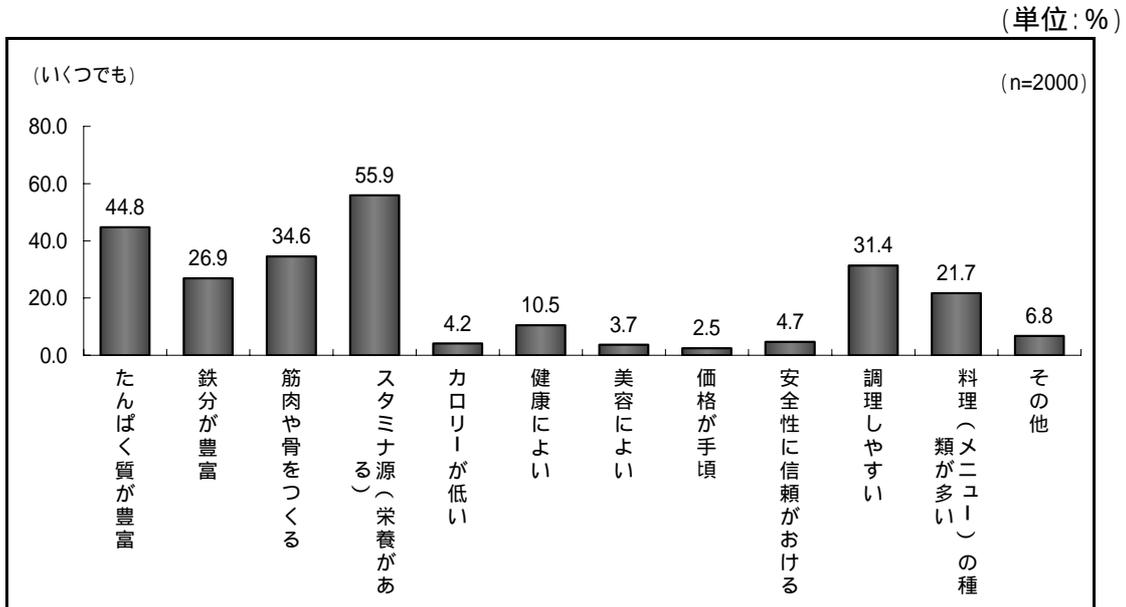
図表 -6 好みの牛肉のサシの量
(単位: %)



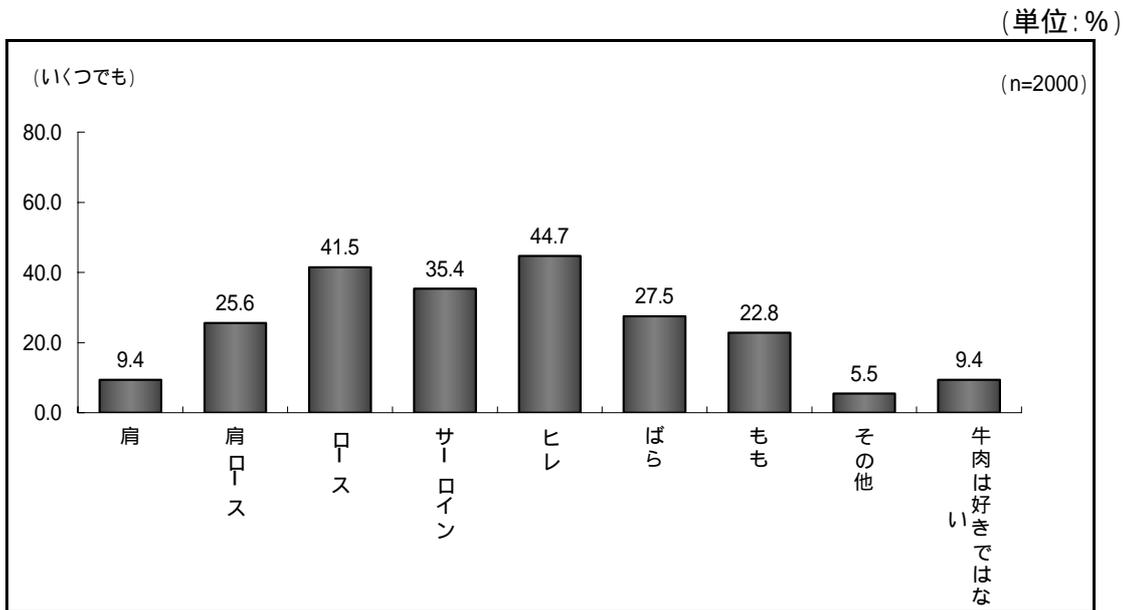
好みの牛肉のサシの量をみると、「写真D」を選んだ人が28.1%と最も多い。次いで「写真B」（19.4%）、「写真C」（17.9%）、「写真A」（13.0%）、「写真E」（11.9%）の順となっており、好みは分散している。

3 牛肉のイメージと好きな部位

図表 -7 牛肉に対するイメージ



図表 -8 牛肉の好きな部位



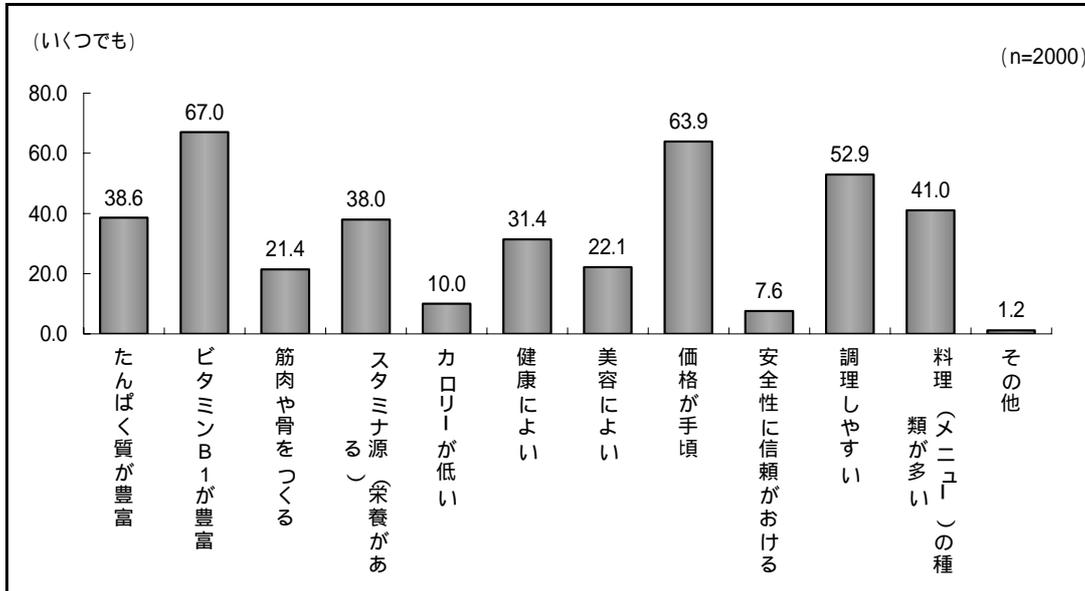
牛肉に対するイメージをみると、「スタミナ源(栄養がある)」が55.9%と最も多く、次いで「たんぱく質が豊富」(44.8%)、「筋肉や骨をつくる」(34.6%)の順。栄養面で評価されていることがわかる。

牛肉の好きな部位としては、「ヒレ」が44.7%、「ロース」が41.5%と高い。次いで「サーロイン」が35.4%で、高級な部位が好まれている。「牛肉は好きではない」は9.4%となっている。

4 豚肉のイメージと好きな部位

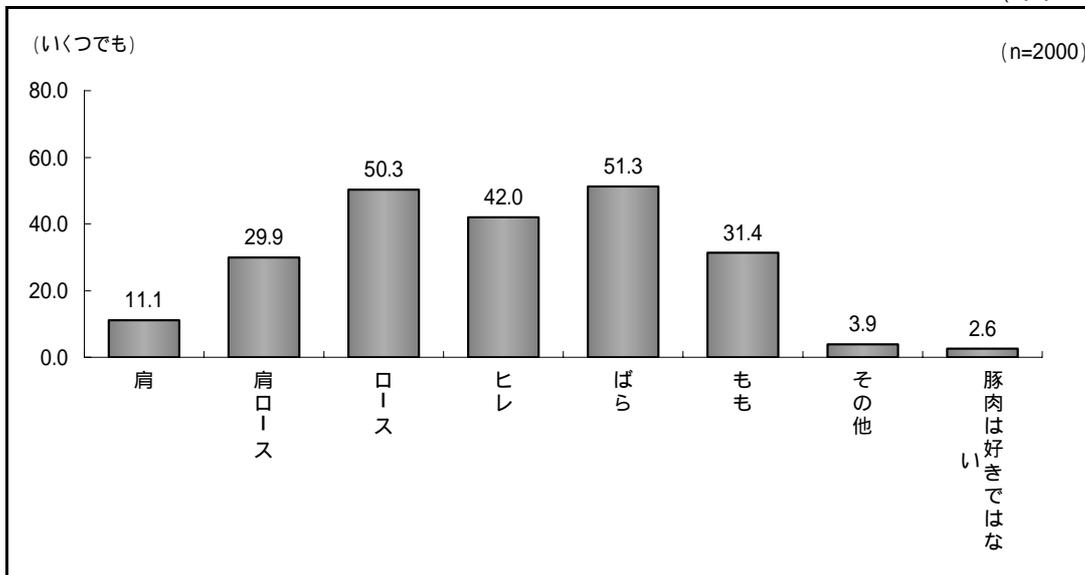
図表 - 9 豚肉に対するイメージ

(単位: %)



図表 - 10 豚肉の好きな部位

(単位: %)

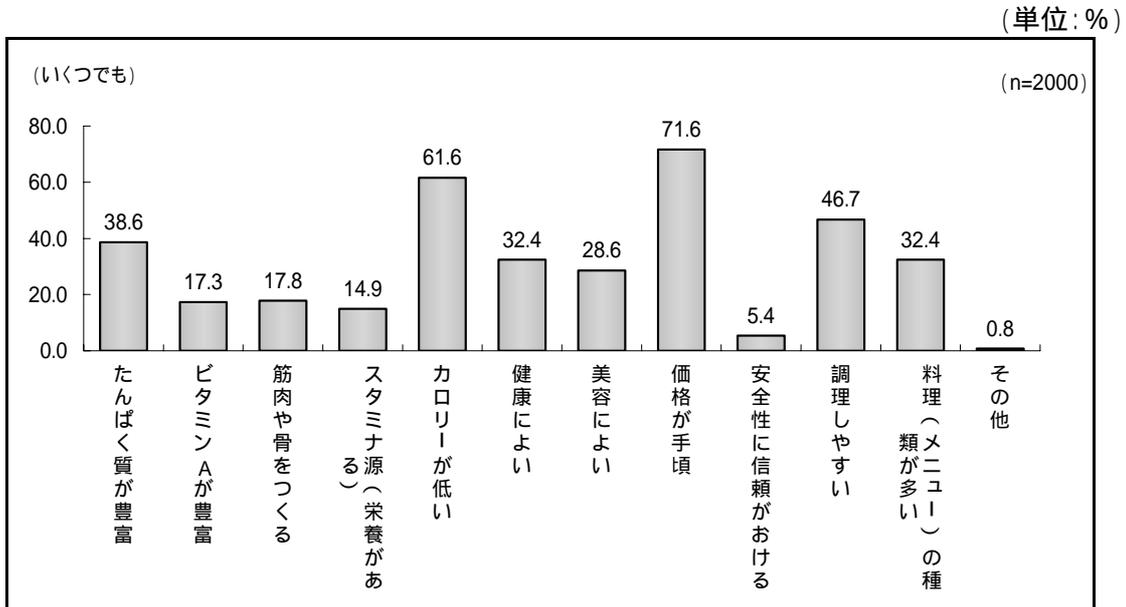


豚肉に対するイメージをみると、「ビタミンB1 が豊富」が67.0%、「価格が手頃」が63.9%と6割を超える。次いで「調理しやすい」が52.9%、「料理(メニュー)の種類が多い」が41.0%で続き、手軽さが評価されていることがわかる。

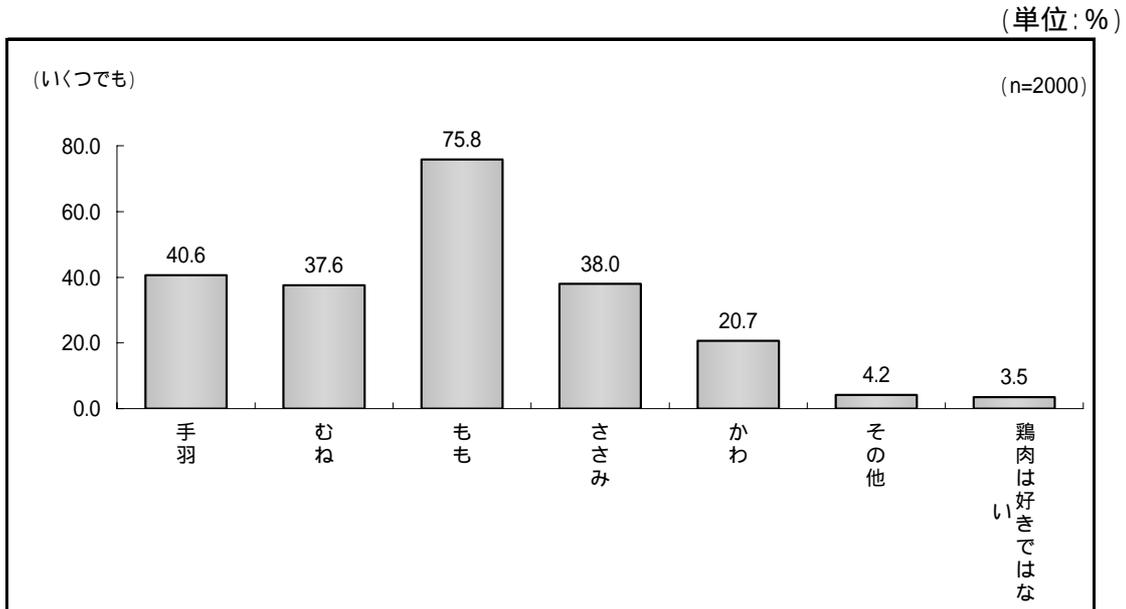
豚肉の好きな部位としては、「ばら」が51.3%、「ロース」が50.3%、「ヒレ」が42.0%と多く挙げられている。「豚肉は好きではない」は2.6%にとどまる。

5 鶏肉のイメージと好きな部位

図表 -11 鶏肉に対するイメージ



図表 -12 鶏肉の好きな部位



鶏肉に対するイメージをみると、「価格が手頃」が71.6%と最も多い。次いで、「カロリーが低い」(61.6%)、「調理しやすい」(46.7%)と続く。栄養面の項目では「たんぱく質が豊富」が38.6%となっている。

鶏肉の好きな部位としては、「もも」が75.8%と突出している。これに「手羽」(40.6%)、「ささみ」(38.0%)、「むね」(37.6%)が同水準で続く。「鶏肉は好きではない」は3.5%にとどまる。

6 肉を使った料理で好きなメニュー

図表 -13 肉を使った料理で好きなメニューベスト10
(単位:%)

順位	メニュー	
1	唐揚げ	13.3
2	焼肉	11.3
3	ハンバーグ	9.9
4	ステーキ	9.7
5	すき焼き	6.6
6	カツ等揚げ物	6.0
7	煮物	3.7
8	カレー	3.5
9	生姜焼き	3.4
10	しゃぶしゃぶ/冷しゃぶ	3.2

肉を使った料理で好きなメニュー上位には、肉そのものの味や食感を楽しむ料理が並んだ。ベスト3は「唐揚げ」(13.3%)、「焼肉」(11.3%)、「ハンバーグ」(9.9%)。また、ベスト10メニューを作る際に使用する肉の種類をみると、牛肉、豚肉、鶏肉、挽肉と分散している。

夕食料理メニュー出現数ベスト10(図表 -26~31 参照)で多数上位にランクインしている「炒め物」は肉を使った料理で好きなメニューベスト10には登場していない。

7 銘柄肉

1. 食べてみたい/また食べたい牛肉の銘柄

図表 -14 牛肉

(単位:出現数)

順位	食べたことはないが 食べてみたい銘柄		食べたことがあり また食べたい銘柄	
	1	松阪牛	634	松阪牛
2	神戸ビーフ(神戸肉)	196	神戸ビーフ(神戸肉)	144
3	米沢牛	90	飛騨牛	89
4	近江牛	44	米沢牛	55
5	宮崎牛	44	近江牛	48
6	飛騨牛	43	佐賀牛	47
7	兵庫産(但馬牛)	21	いわて前沢牛	32
8	大田原牛	20	宮崎牛	32
9	いわて前沢牛	17	石垣牛	23
10	佐賀牛	17	仙台牛	19
	石垣牛	17		

銘柄肉について、「食べたことはないが、食べてみたい肉の銘柄」「食べたことがあり、また食べたい肉の銘柄」を牛肉、豚肉、鶏肉それぞれ自由記入方式で尋ねた。

牛肉の「食べたことはないが、食べてみたい銘柄」の1位は「松阪牛」で、2位以下を圧倒している。ブランド牛肉といえば「松阪牛」というイメージが世間に定着していることを裏付ける結果である。

「食べたことはないが、食べてみたい銘柄」と「食べたことがあり、また食べたい銘柄」の上位2つの顔ぶれは同じで「松阪牛」「神戸ビーフ(神戸肉)」となっており、3位以下を引き離している。

7 銘柄肉

2. 食べてみたい/また食べたい豚肉の銘柄

図表 -15 豚肉

(単位:出現数)

順位	食べたことはないが 食べてみたい銘柄		食べたことがあり また食べたい銘柄	
	1	イベリコ豚	212	あぐ～豚
2	TOKYO X	84	イベリコ豚	72
3	あぐ～豚	79	かごしま黒豚	67
4	かごしま黒豚	48	平牧三元豚	38
5	平牧三元豚	31	白金豚	13
6	金華豚	29	越後もち豚	12
7	ホエー豚	22	茶美豚	10
8	白金豚	19	TOKYO X	9
9	幻霜スペシャルポーク	7	信州ポークSPF豚	8
10	どんぐり豚	5	宮崎ハマユウポーク	7
			ホエー豚	7
			金華豚	7

豚肉の「食べたことはないが、食べてみたい銘柄」の1位は「イベリコ豚」が突出している。どんぐりを食べさせて育てる豚としてメディアなどで取り上げられることが多い。2位は東京の「TOKYO X」、3位は沖縄の「あぐ～豚」と続く。

「食べたことがあり、また食べたい銘柄」の1位は「あぐ～豚」。次いで「イベリコ豚」「かごしま黒豚」と続く。「食べたことはないが、食べてみたい銘柄」と「食べたことがあり、また食べたい銘柄」の両方で上位にランクインしているのは「イベリコ豚」「あぐ～豚」である。

また、「かごしま黒豚」以外に「黒豚」とだけ答えた回答が「食べたことはないが、食べてみたい肉の銘柄」では59、「食べたことがあり、また食べたい肉の銘柄」では109上がっている。

7 銘柄肉

3. 食べてみたい/また食べたい鶏肉の銘柄

図表 -16 鶏肉

(単位:出現数)

順位	食べたことはないが 食べてみたい銘柄		食べたことがあり また食べたい銘柄	
1	名古屋コーチン	227	比内地鶏	120
2	比内地鶏	173	名古屋コーチン	100
3	宮崎地鶏	55	阿波尾鶏	45
4	阿波尾鶏	18	宮崎地鶏	44
5	鳥骨鶏	18	みつせ鶏	22
6	軍鶏	16	宮崎鶏	9
7	天草大王鶏	8	赤鳥	7
8	日向鶏	7	軍鶏	6
9	宮崎鶏	6	ハーブ鶏	6
10	青森シャモロック	5	青森シャモロック	5
			南部どり	5
			大山鶏	5
			讃岐コーチン	5
			土佐ジロー	5
			伊達鶏	5
			知床鶏	5
			さくら鶏	5

鶏肉は「食べたことはないが、食べてみたい銘柄」「食べたことがあり、また食べたい銘柄」のいずれも「名古屋コーチン」と秋田の「比内地鶏」が3位以下を大きく引き離している。「食べたことはないが、食べてみたい銘柄」は「名古屋コーチン」が、「食べたことがあり、また食べたい銘柄」は「比内地鶏」がそれぞれ1位となっている。